

本戦略	施策	回答団体	取組名	取組内容	実施時期	事業費	事業費財源	備考・課題
		(民間) 宿泊事業者	天狗の道トレイルの再整備「五竜とおみトレッキングコース」として親しまれた尾根道の一部を再生する。	本トレイルは、標高2,000m以下の穏やかな尾根道を再生し、険しい登山とは異なる、白馬らしい景色を楽しみながら、自然の中をゆったりと長く歩ける体験を提供することを目的としています。地域の方々や訪れる人々が、無理なく自然と関わるができる、心地よい道を目指します。 また、これまでの登山道管理の知恵を大切にしつつ、『Trail Maintenance and Construction Notebook（USDA）』に基づく持続可能な整備手法を取り入れ、自然への影響を抑えながら、長く使える道づくりを試みています。	2026～2028年度	未定	■自主財源（今のところ 協会員や、有志が集まったメンバーで運営中） ■宿泊税を検討	・許可申請手続きにおいては、地域内での合意形成が不可欠であり、個人や任意団体のみで進めるには限界がある。円滑な事業推進のため、行政（役場）および観光局による調整・バックアップ体制の構築をお願いしたい。 ・現在はボランティアを中心に運営しているが、継続的な活動と安全性の確保のためには一定の予算確保が望ましい。予算的な支援をいただけると大変ありがたい。
		(DMO)	塩の道文化の継承・商品化	村内の千国街道「通称：塩の道」を文化資源として保全するため、教育委員会等と協働で、落倉地区やさのさか地区の道、点在する石仏群や神社などをより良い状態で保全する計画及び実施。 また宿泊施設やマイスターと連携して商品化し、ツアー商品として販売する。	2027～ ツアー はグリーンシーズ ン（春秋が主）	未定	■自主財源 ■行政等からの補助金 ■宿泊税を検討	

基本戦略	施策	回答団体	取組名	取組内容	実施時期	事業費	事業費財源	備考・課題
		(DMO)	塩の道・サステナブル広域周遊観光推進事業	塩の道を軸に、糸魚川～小谷・白馬・大町（～松本）をつなぐ歴史・自然・暮らしのストーリーを観光資源として再編集し、通年型・高付加価値型観光の推進を図る。地域内の自然・文化・食・暮らし・移動体験を組み合わせた周遊コンテンツ造成、ガイド育成、多言語情報整備、サイン整備、モデルコース造成、二次交通整備、情報発信等を段階的に実施する。 また、環境配慮型の移動や地域資源の保全・活用を通じ、「地域と共存する観光」を実装し、サステナブルツーリズムの推進につなげる。 将来的には文化庁補助金等の活用による拠点整備や、サステナブル認証取得等も視野に入れる。	新規（2026年度～2028年度）	想定アリ：約2,000～4,000万円（3年間TTL）	■自主財源（民間協賛） ■行政等からの補助金（文化庁、観光庁、県） ■宿泊税を検討	3年間で実施する範囲によって事業費は大きく変動。DMOはPMOとしての役割であり、実施主体は3市村の観光団体となることを想定。
		(協議会)	塩の道トレイル協議会（仮）による、糸魚川ー松本（北塩ルート）の整備	・塩の道トレイル戦略立案 ・事業者向けセミナー開催（3回） ・塩の道トレイルルート選定（塩の道を軸に、歩くことが楽しいルート設定）、整備 ・公共交通課題の洗い出し ・共通サイン計画設計 ・ロゴ、Webページ開発	新規（2026年度～2028年度）	約800万円	■自主財源（塩の道ツアー商品販売事業者からの売上1-3%程度の寄付を想定） ■行政等からの補助金 ■宿泊税を検討	
	■ 施策1-4 住民向けの情報発信と住民向け優遇策の充実(インナーキャンペーンの実施)							
	■ 施策1-5 来訪者・住民の双方を守る災害・防犯対策							
(該当事業なし)								
【基本戦略2】 白馬村の魅力を損なわないための適切な開発								
■ 施策2-1 適切な開発								
	(民間) 宿泊事業者	前加工場を解体した跡地の有効活用	(再掲のため省略)					
■ 施策2-2 白馬ルール(仮)の策定と運用(事業者・住民・観光客と共に)								
	(協議会)	温泉文化・入浴マナー啓発事業、白馬温泉ブランドの発信	・単なる「スキー・登山の後に入る温泉」ではなく、スポーツ・自然・回復・リフレッシュと結びついた新しい温泉文化の地域として発信する事業 【入浴マナー啓発】かけ湯、タオルを湯船に入れない、撮影禁止、洗い場利用、サウナマナー等 【外国人向け案内】英語、中国語、韓国語、タイ語等の案内整備 【温泉文化発信】日本の温泉文化、白馬の泉質、山岳リゾート型温泉の魅力発信 【動画・Web】1～3分程度の入浴マナー動画、QRコード案内 【スタッフ研修】外国人対応、注意の仕方、トラブル予防研修		新規（2027年度～2028年度）	約4,000,000円	■宿泊税を検討	※外国人・日本人・地域住民・宿泊者が互いに気持ちよく利用できる環境整備としてハード的な要求があった場合の対応基準等と更新費用が不明
■ 施策2-3 科学的な観光地経営の元となる統計整備とモニタリング手法開発								
	(DMO)	観光データ基盤整備・可視化事業	来訪者アンケート、GPSデータ、WEBアクセス解析等を統合し、観光地経営戦略に活用するダッシュボードを構築。来訪者属性・周遊・消費・満足度等を継続的に把握し、施策改善へ活用する		2026年度～2028年度 ※継続だがアプローチを転換	約600～1,200万円（3年間TTL）	■行政等からの補助金（DMO関連） ■宿泊税を検討	すべての取り組みに共通：取り組みはDMOとして観光地経営戦略を策定し、地域ステークホルダーの同意を得た上で実施検討されるもの。現時点では実施体制も整っておらず、事務局で構想ベース。
【基本戦略3】 白馬村における観光産業の構造改革								
■ 施策3-1 多様な季節・エリアの魅力づくりによる閑散期対策の強化								
	(民間) 宿泊事業者	天狗の道トレイルの再整備「五竜とおみトレッキングコース」として親しまれた尾根道の一部を再生する。	(再掲のため省略)					

本戦	施策	回答団体	取組名	取組内容	実施時期	事業費	事業費財源	備考・課題
		(民間) アクティビティ関連事業者	ランディングの確保	現在使わせて頂いているランディング（第6駐車場）が舗装されるかもとの事ですので、休耕田等場所の確保が重要	2026年度中に検討して、2027～2028年度中には確保出来るようにしたい。	未定	■自主財源 ■行政等からの補助金	パラグライダーは動力を持っていないので、検討できる場所の確保が難しい。

本戦略	施策	回答団体	取組名	取組内容	実施時期	事業費	事業費財源	備考・課題
		(DMO)	白馬村ブランディング事業	オールシーズン型マウンテンリゾートを目指すにあたって、国内外へ魅力的なエリア（観光地）として、質の高い情報発信を継続的に実施するもの。情報発信は、SNSやWEB広告、現地プロモーションなどを、ターゲットによって選択して効果的に実施する。 冬の観光客数を落とさず、それ以外の時期を増やす（特に春秋）施策を計画。客層にもこだわっていく。	常に実施・継続していく	2200万円（2026年度）	■自主財源 ■行政等からの補助金 ■宿泊税を検討	
		(DMO)	塩の道文化の継承・商品化	（再掲のため省略）				
		(民間) アクティビティ関連事業者	登山道整備	登山道整備として、大雪渓ルート、鍾温泉ルート、遠見尾根ルートについて北アルプストレイルプログラムと合わせて、整備計画を立てていけるように検討している	2027～2028年度のグリーンシーズン	未定	■自主財源 ■行政等からの補助金 ■宿泊税を検討 ■登山者からの協力金	
		(民間) アクティビティ関連事業者	雁股池ルート整備	猿倉（もしくは白馬尻）から雁股池を経由し、小蓮華山の稜線および、白馬大池につながるルートを検討し、グリーンシーズンのトレッキングコンテンツの拡充を図る	2027～2028年度のグリーンシーズン	未定	■行政等からの補助金 ■宿泊税を検討	
		(DMO)	Hakuba Valley ブランド・情報発信強化事業	Hakuba Valleyのブランド価値向上を目的として、WEBサイト改修、SNS運用、映像・写真アーカイブ整備、多言語情報発信を実施。スキー中心の発信から、通年型マウンテンリゾートとしての価値訴求へ転換する。	2026年度～2028年度 ※継続だがアプローチを転換	約1,500～2,000万円（3年間TTL）	■自主財源 ■行政等からの補助金（DX補助金等） ■宿泊税を検討	すべての取り組みに共通：取り組みはDMOとして観光地経営戦略を策定し、地域ステークホルダーの同意を得た上で実施検討されるもの。現時点では実施体制も整っておらず、事務局で構想ベース。
		(DMO)	塩の道・サステナブル広域周遊観光推進事業	（再掲のため省略）				
		(協議会)	塩の道トレイル協議会（仮）による、糸魚川―松本（北塩ルート）の整備	（再掲のため省略）				
	■ 施策3-2 観光産業事業者・従事者の労働環境・居住環境・教育環境の整備							
		(民間) 宿泊事業者	拠点に若い世代が安全に山と向き合い、学び、楽しむ力を育てるための地域プログラム	（再掲のため省略）				
	■ 施策3-3 ハード・ソフトの付加価値の向上(既存施設への再投資)							
		(民間) 宿泊事業者	サウナ・露天風呂	私たちの計画では、所有しているすべての物件に少なくともサウナ施設を設置する予定です。また、宿泊者向けに加えて、当施設に宿泊していない観光客でも予約して利用できる貸切露天風呂を1～2か所設置したいと考えています。		1 未定	■自主財源	
		(民間) 宿泊事業者	子ども向けの遊び場	新しくトランポリンを購入し、Taproomの庭に小さな屋外クライミングウォールを設置する予定です。少し公園のような雰囲気になると思います。		1 未定	■自主財源	
		(民間) 宿泊事業者		省エネのため、建物のインソレション	毎年少しずつ、補助金がなければ	未定	■自主財源 ■行政等からの補助金	金
		(民間) アクティビティ関連事業者	登山道整備	（再掲のため省略）				
		(民間) アクティビティ関連事業者	雁股池ルート整備	（再掲のため省略）				

本戦	施策	回答団体	取組名	取組内容	実施時期	事業費	事業費財源	備考・課題
		(協議会)	白馬ウェルネス温泉構想	・白馬では、温泉施設ごとに泉質・景色・立地・利用者層が異なります。これを「単なる温泉一覧」ではなく、体験別の提案に変えるための研究を大学等とタイアップして行う。 ・各種運動別に運動前後の温泉の入り方を「白馬ルール」として提案する 例：スキー前の朝→朝風呂は短時間。滑走前は長湯しない スキー後→水分補給→ 30 分休憩→ ぬるめ入浴→ 夕食 登山後→休憩→ 水分・塩分補給→ 30 分以上休む→ 入浴等	新規（2028～2030年度）	未定	■宿泊税を検討	

基本戦略	施策	回答団体	取組名	取組内容	実施時期	事業費	事業費財源	備考・課題
		(民間) 宿泊事業者	天狗の道トレイルの再整備「五竜とおみトレッキングコース」として親しまれた尾根道の一部を再生する。	(再掲のため省略)				
	■ 施策3-4 収益性を高めるための仕組みづくりと、利便性・生産性向上を実現するためのDXの推進							
		(DMO) (協議会)	観光データ基盤整備・可視化事業 泉質と食事を組み合わせた「白馬温泉食」構想 【山で動いた身体にやさしい、信州らしい回復食】	(再掲のため省略) 温泉と食事を別々に売るのではなく、温泉に入る前後の食事提案にすることで宿泊施設の価値を上げる。 ・【温泉シーン×食事テーマ→具体例】 例 登山後の温泉→塩分・たんぱく質・水分→信州味噌鍋、根菜汁、豚肉、きのこ連泊湯めぐり→飽きない郷土食→山菜、きのこ、蕎麦、信州福味鶏、野沢菜シニア滞在→軽く、温かく、食べやすく→小鉢、煮物、蒸し野菜、減塩対応 ・【農との連携】産業連関表からも明らかのように白馬村の宿泊業の地域経済における役割は極めて大きく、しかも白馬村を含む大北エリアは農業的に活性化しており、これらの食材を積極的に使う仕組みは地域経済に寄与するだけでなく、新鮮さを売り物にした「食」は健康への寄与度は大きいため、農家との繋がりを強め、作ったものを飼う仕組みだけでなく、作って欲しい白馬独自の野菜等を注文できる仕組みを作る。※出来れば農家の安定的収益に繋がる季節野菜を作る仕組みを ・【鮮魚との連携】「塩の道」を縁にした糸魚川との繋がりを鮮魚との「白馬塩の道海鮮食」として身体にやさしい、信州らしい回復食としての広域的な食と温泉との活性化構想として取り組む。	新規（2027年度～2032年度）	未定		
		(民間) 宿泊事業者	サウナ・露天風呂	(再掲のため省略)				
【基本戦略4】世界に通用する白馬の魅力＝HAKUBAローカルの磨き上げ								
	■ 施策4-1 HAKUBAローカルの発信とそれらをじっくり楽しむコンテンツの開発							
		(民間) 宿泊事業者	天狗の道トレイルの再整備「五竜とおみトレッキングコース」として親しまれた尾根道の一部を再生する。	(再掲のため省略)				
		(民間)宿泊事業者	サウナ・露天風呂	(再掲のため省略)				
		(DMO)	塩の道文化の継承・商品化	(再掲のため省略)				
		(民間)アクティビティ関連事業者	登山道整備	(再掲のため省略)				
		(民間)アクティビティ関連事業者	雁股池ルート整備	(再掲のため省略)				
		(DMO)	Hakuba Valley ブランド・情報発信強化事業	(再掲のため省略)				
		(DMO)	塩の道・サステナブル広域周遊観光推進事業	(再掲のため省略)				
		(協議会)	塩の道トレイル協議会（仮）による、糸魚川ー松本（北塩ルート）の整備	(再掲のため省略)				

基本戦略	施策	回答団体	取組名	取組内容	実施時期	事業費	事業費財源	備考・課題
		(協議会)	温泉利用施設連携推進事業	・ 現在の日帰り温泉施設中心の枠組みから、温泉利用宿泊施設、源泉所有者、観光局、村を含めた白馬温泉全体の協議体制を整える事業。 ・ 【定例会議】 年4～6 回の連携会議 ・ 【情報共有】 入込状況、トラブル、外国人対応、施設課題の共有 ・ 【共同事業】 共通マナー表示、温泉MAP、温泉文化PR、研修会	新規（2027年度～2029年度）その後継続も考える	約1,200,000円	■宿泊税を検討	
		(協議会)	温泉文化・入浴マナー啓発事業、白馬温泉ブランドの発信	(再掲のため省略)				
		(協議会)	白馬ウェルネス温泉構想	(再掲のため省略)				

本戦略	施策	回答団体	取組名	取組内容	実施時期	事業費	事業費財源	備考・課題
		(協議会)	泉質と食事を組み合わせた「白馬温泉食」構想 【山で動いた身体にやさしい、信州らしい回復食】	(再掲のため省略)				
	■ 施策4-2 白馬村の自然環境を後世に引き継ぐための環境対策							
		(民間) 宿泊事業者	スキーイン・アウト地域化実証事業（スノースポーツ利用者優先道路の検討）	(再掲のため省略)				
		(民間) 宿泊事業者	白馬ミントグループ	(再掲のため省略)				
		(DMO)	塩の道・サステナブル広域周遊観光推進事業	(再掲のため省略)				
		(民間) 宿泊事業者	天狗の道トレイルの再整備「五竜とおみトレッキングコース」として親しまれた尾根道の一部を再生する	(再掲のため省略)				
	■ 施策4-3 多様な来訪者の受け入れ環境整備							
		(民間)その他事業者		海外向けHP作成・集客	2026～2027年度	未定	■自主財源	
		(協議会)	温泉文化・入浴マナー啓発事業、白馬温泉ブランドの発信	(再掲のため省略)				
		(民間) その他事業者	前加工場を解体した跡地の有効活用	(再掲のため省略)				
	■ 施策4-4 ターゲットとの関係構築を意識した戦略的なプロモーション							
		(民間)アクティビティ関連事業者		(再掲のため省略)				
		(DMO)	白馬村ブランディング事業	(再掲のため省略)				
		(DMO)	Hakuba Valley ブランド・情報発信強化事業	(再掲のため省略)				
	■ 施策4-5 観光財源の効果的な活用とガバナンス構築							
		(該当事業なし)						
	■ 施策4-6 ビジョンを実現するための観光推進体制の強化と観光推進組織の改革							
		(協議会)	温泉利用施設連携推進事業	(再掲のため省略)				

宿泊税を活用して前期期間中(2026-2028年度)に実施した方がよいと思われる取り組み

基本戦略	施策	回答団体	実施した方がよい取組内容	想定される実施主体／補足
【基本戦略1】住民の暮らしの豊かさにもつながる観光振興				
■ 施策1-1 ストレスフリーな二次交通整備と環境負荷の低い移動手段の促進				
(民間)宿泊事業者		スキーイン・アウト地域化実証事業（スノースポーツ利用者優先道路の検討）		
(民間)宿泊事業者		夏季のナイトデマンドタクシーの運行		代行がなくなってしまった今、1台だけでもいいので村内だけでも運行していると助かる。飲酒運転を平気でしている村民もたくさんいます。夏場は歩きたくても熊の心配や、冬季はタクシーに乗りたくても捕まらなかったりします。1台でも0:00ごろまで運営していただけると助かります。飲みに出ている人たちの半分でも車でなくナイトデマンドを利用したら、排気ガスもその分半分になります。行きだけ車、帰りはデマンド、朝車を取りに行くのにまたデマンドを使うことが習慣になれば、飲酒運転の事故も、違反も減り、飲み屋も安心してお酒を存分に提供できます。よろしくお願いいたします。
(民間)宿泊事業者		駅前の交通渋滞緩和		駅の反対側にも改札口を作り、タクシーやバス乗り場をつくる。
(民間)宿泊事業者		八方尾根スキー場ゴンドラ建設地と駐車場の設置にむけた道路づくり（渋滞の緩和）		建設課
(民間)宿泊事業者		八方からエコーランドに向かう道の渋滞緩和のための道路整備		建設課
(民間)アクティビティ関連事業者		各地で事故が多発してたので除雪等の道路整備対策		
(民間)アクティビティ関連事業者		主な懸念点として、白馬では大型ホテルの開発が進み来訪者が増えている中で、特にオリンピック道路の交通渋滞がさらに悪化することを心配しています。今シーズンの冬も、交通量が非常に多い日が見られました。 宿泊施設の増加に加え、中山エリアの八方ゴンドラ新設もあり、今後さらに混雑が進む可能性があると感じています。 ジャンプ台からエコーランド裏手へ抜け、最終的にマリオット・コートヤード付近に出る裏道の整備が実現すれば、タップルーム交差点の渋滞緩和に大きく貢献するのではないかと考えています。		担当する主体については明確ではありませんが、本件について白馬村から適切な関係機関へご共有・ご対応いただけることを期待しております。
(民間)アクティビティ関連事業者		2つ目の提案として、ローソンから養老乃瀧までのオリンピック道路の除雪状況の改善を挙げたいと思います。 冬季には路面が非常に凹凸のある状態になることが多く、ドライバーにとって危険であるだけでなく、車両のサスペンションへのダメージにもつながっています。 また、このような路面状況が交通渋滞の原因にもなっていると感じています。		担当する主体については明確ではありませんが、本件について白馬村から適切な関係機関へご共有・ご対応いただけることを期待しております。
(民間)宿泊事業者		道路の整備(古い場所たくさんある)、街灯の取り付け、旅行者為のサイン		村
(民間)宿泊事業者		観光インフラ（二次交通）		村、各リゾート運営会社
(民間)宿泊事業者		冬季の除雪活動の体制を見直す。雪の捨てる場所や、除雪すべきルート、必要な道具に重機など。		平川、松川河川敷の有効利用と整備
(民間)宿泊事業者		白馬駅前の整備（駐車場、観光案内所）		
(民間)宿泊事業者		【冬季の道路状況の改善】 ・除雪出動回数の増加、安定 ・排雪場所の再検討 ・送迎バスの運行整理と整備をおこない各観光拠点へのアクセスをよりわかりやすくスムーズに		自治体 委託業者
(民間)アクティビティ関連事業者		交通インフラ整備。登山口までのバス拡充		
(民間)アクティビティ関連事業者		交通インフラ整備。登山口付近の駐車場拡充。駐車場の混雑状況カメラ設置、または予約制		

本戦略	施策	回答団体	実施した方がよい取組内容	想定される実施主体／補足
		(DMO)	観光インフラの整備課×ＤＸ（特にグリーンシーズン） 季節感の来訪者数の平準化が課題となっている中で、グリーンシーズンの客足を伸ばすのには、来訪者が地域内の移動に不便を感じないようにすることが必要。 現状Ｕｂｅｒや乗り合いタクシー、一部地域内路線バスもあるが、情報がまとまっておらず、来訪者にとってわかりにくい状況。交通手段そのものに加え、ＤＸを導入した情報発信を強化することが必要だと考える。	自治体、交通事業者
		(民間)宿泊事業者	二次交通・周遊環境整備 「駅・宿・スキー場・温泉・中心地を結ぶ循環便」 →現状のデータを踏まえた季節に即した効率的な交通体型をつくった上で、 索道事業者、日帰り温泉施設、大小の宿泊施設を結ぶバス路線の定期便の設定とそのバス停、時刻表、QR案内等の多言語案内	索道事業者・交通事業者・白馬ホテル協議会・の協議体
		(民間)その他事業者	白馬村に周遊できる自動運転のケーブルカー（例えば、Zip Infrastructure社が開発中の「Zippar」のような自走式ロープウェイ）を導入する構想を提案します。 ・渋滞緩和と効率的な周遊: 道路上空などを走行するシステムであれば、冬季の深刻な道路渋滞の影響を受けず、主要な観光拠点（スキー場、ホテル街、駅、道の駅など）を効率的に結ぶことができます。 ・通年利用と安定運行: 積雪の影響を受けにくく、通年での安定した運行が期待できます。12人乗りのゴンドラを人の動きに合わせ自動制御するシステムで、時刻表がありません。 ・先進的な村のイメージ、環境負荷の低減（化石燃料を使用しない電動システム）にも繋がります。	
		(民間)その他事業者	・冬季の交通渋滞の解消のために、駅前ロータリー地下に、白馬駅と連結した町営の地下駐車場を整備する。タクシー、ホテルの送迎車、レンタカー等の専用の乗降場所を併設する。 ・JR東日本との「レンタカーサービス付き乗車券」共同事業や観光MaaSとの連携も提案。	
		■ 施策1-2 白馬村ならではの特徴的な教育の実施		
		(民間)宿泊事業者	白馬村を拠点に若い世代が安全に山と向き合い、学び、楽しむ力を育てるための地域プログラム	
		(民間)その他事業者	白馬村における小中学校および高校の教育は、地域の特性（豊かな自然と国際性）を活かした独自の教育を目指していますが、外からはその特色ある取り組みが評価されていない現実があります。その状況を知り、白馬村の教育の質をアピールすることで、白馬で子育てをしたい居住者を導くことが可能になります。 ・小中学校（村立）：地域性を生かした教育、ICT教育と少人数教育、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）、国際理解教育。進学に関する選択肢の少なさ（特に高校以降）が課題。 ・高等学校（長野県白馬高等学校）：国際観光科の設置、寮の設置による村外からの生徒受け入れ。 ・特色ある教育機関として白馬インターナショナルスクール(HIS)が存在。少人数制、プロジェクト型学習、アウトドア教育、環境サステナビリティに重点を置いたユニークなカリキュラム（英語での授業が中心）。 白馬村が持つ「国際的な観光地」としての知名度や「豊かな自然環境」といった強みを最大限に活かし、地域全体でサポートする体制づくりが成功の鍵となります。	
		■ 施策1-3 巻き込み型の文化資源の活用と保全		
		(民間)宿泊事業者	天狗の道トレイル再整備	
		(DMO)	自然環境への保全活動	親海湿原姫川源流の保全活動をはじめ、河川や森林整備（特に観光客が回遊する場所）

本戦	施策	回答団体	実施した方がよい取組内容	想定される実施主体／補足
		(協議会)	塩の道・道祖神・多雪文化を活かした連泊促進型サイン整備事業 ～白馬の“歩いて知る文化”を、1泊通過型観光から2泊・3泊滞在型観光へ転換するために～ 1. 塩の道の価値が宿泊者に十分伝わっておらず、イベント的な行事になっている 「塩を運んだ道」という説明だけでは、道祖神、石仏、雪国の暮らし、牛方宿、地域信仰、食文化、温泉との関係まで伝わりにくい。 2. 道祖神や石仏の意味が分からない 写真を撮って終わるだけになりやすく、「なぜこの場所にあるのか」「旅人や集落をどう守ってきたのか」が伝わっていない。 3. 多雪地帯ならではの案内が不足している 冬期・融雪期は、積雪、凍結、雪崩・落雪、ぬかるみ、視界不良などがあり、通常の観光看板では不十分。 4. 1泊型観光から連泊型観光への導線が弱い 白馬はスキー・登山目的では連泊がある一方、文化散策・歴史回遊を理由にした連泊提案がまだ弱い。 5. 村内・小谷・大町・糸魚川方面との広域連携が弱い 塩の道は本来、広域の文化軸であり、白馬単独ではなく小谷・大町・糸魚川との連携により価値が高まる。	観光局
	■ 施策1-4 住民向けの情報発信と住民向け優遇策の充実(インナーキャンペーンの実施)			
		(民間)その他事業者	宿泊業者に偏ることなく、白馬村について確りと考えている村民や法人のためにも活用していただきたい。アイデアはあっても資金面は不足するといったところに活用することで「地域全体での白馬ブランドの構築」につながるかと捉えている。	
	■ 施策1-5 来訪者・住民の双方を守る災害・防犯対策			
		(民間)その他事業者	観光客が多く歩く道の街頭整備	
		(民間)その他事業者	防犯カメラの設置	
		(民間)宿泊事業者	夏季のナイトデマンドタクシーの運行	代行がなくなってしまった今、1台だけでもいいので村内だけでも運行していると助かる。飲酒運転を平気でしている村民もたくさんいます。夏場は歩きたくても熊の心配や、冬季はタクシーに乗りたくても捕まらなかったりします。1台でも0:00ごろまで運営していただけると助かります。飲みに出ている人たちの半分でも車でなくナイトデマンドを利用したら、排気ガスもその分半分になります。行きだけ車、帰りはデマンド、朝車を取りに行くのにまたデマンドを使うことが習慣になれば、飲酒運転の事故も、違反も減り、飲み屋も安心してお酒を存分に提供できます。よろしくお願いいたします。
		(民間)アクティビティ関連事業者	迷惑防止条例，飲酒運転，迷惑、マナー違反行為の周知徹底	
		(民間)アクティビティ関連事業者	大雪渓ルートを監視するカメラの設定	白馬山案内人組合、観光局
		(DMO)	マナー向上×観光リスクマネジメント 山岳観光が一般化する中で、これまで以上にいわゆる「自然を侮った」行動が目立つようになることが想定される。初めての登山であっても、最低限必要な知識・持ち物・有事の行動等、情報発信を強化することは、最終的には環境保全や地域住民への配慮にもつながると考える	自治体、観光団体、体験提供事業者、ガイド団体、宿泊事業者、

基本戦略	施策	回答団体	実施した方がよい取組内容	想定される実施主体／補足
【基本戦略2】白馬村の魅力を損なわないための適切な開発				
■ 施策2-1 適切な開発				
		(民間)宿泊事業者	八方尾根スキー場ゴンドラ建設地と駐車場の設置にむけた道路づくり（渋滞の緩和）	建設課
		(民間)アクティビティ関連事業者	主な懸念点として、白馬では大型ホテルの開発が進み来訪者が増えている中で、特にオリンピック道路の交通渋滞がさらに悪化することを心配しています。今シーズンの冬も、交通量が非常に多い日が見られました。 宿泊施設の増加に加え、中山エリアの八方ゴンドラ新設もあり、今後さらに混雑が進む可能性があると感じています。 ジャンプ台からエコーランド裏手へ抜け、最終的にマリオット・コートヤード付近に出る裏道の整備が実現すれば、タップルूम交差点の渋滞緩和に大きく貢献するのではないかと考えています。	担当する主体については明確ではありませんが、本件について白馬村から適切な関係機関へご共有・ご対応いただけることを期待しております。
		(民間)宿泊事業者	景観向上	村
		(民間)宿泊事業者	長期計画に基づく幹線道路脇への植樹（桜等花の綺麗な樹木）	
		(民間)宿泊事業者	人口密度（宿泊施設）の多いみそら野、名鉄別荘地への下水工事、リゾート地には環境保全のため下水設備が必要、少しずつでも進めて欲しい。	
		(DMO)	村内景観づくり（色彩）	コンビニやガソリンスタンド、スーパーマーケットなどの看板を落ち着いた色彩に変更してもらおう。ガードレールや電柱なども随時景観に配慮した色へと変更。
		(DMO)	景観ルール整備 特に外資系の資本の大きい事業者が、歴史や既存景観に配慮しない形で開発を進める例が散見される。短期的には自治体の税収向上につながるものの、統一感のない景観となることで長期的には地域の価値や住民の住みやすさに悪影響が出ると考えられる。2025年に軽井沢町が開発規定を強化する内容を含めた宣言を発表したのに習って、白馬村でも検討してはどうか考える	自治体
		(民間)その他事業者	当社で検討中の「前加工場を解体した跡地の有効活用」（質問1参照）について、白馬村の玄関口として立地・景観も最適と考えており、宿泊税の活用も含めてご検討いただきたい。周辺住民・白馬村にとって芳しくないものを建築したくないというのが本音であり、どのような形であれ話し合いの機会があればありがたい。	
		(民間)宿泊事業者	北部グラウンドに、誰でも予約して利用できる人工芝のサッカー／ラグビー場を設置します	役場
		(民間)宿泊事業者	松川北岸の公園にトイレを設置し、その土地をキャンプ場運営者に貸し出します。	役場
■ 施策2-2 白馬ルール(仮)の策定と運用(事業者・住民・観光客と共に)				
		(民間)宿泊事業者	冬季のごみ箱の設置	エコーランド、八方などの中心街に空き缶や食べ物のごみ箱を設置（各飲食店、宿泊業、地域住民が毎日ボランティアで自分の敷地以外のところも掃除しています。ゴミ箱があれば、少し減と思います（祈りたいです、、）がいかがでしょうか？）
		(民間)宿泊事業者	松川、平川にごみ放置罰金の看板	河川敷にごみ放置罰金、監視カメラあり、などの看板を設置（グリーンシーズンの河川敷での外遊びをした後のマナーの悪さが年々目立ちます。看板があるだけでも少し変わると思いますので、設置していただきたいです。景観を損なってしまうようであれば、地元アーティストにお願いして絵をかいてもらうでもいいと思います）
		(民間)アクティビティ関連事業者	迷惑防止条例，飲酒運転，迷惑、マナー違反行為の周知徹底	
		(民間)宿泊事業者	健全なルール作り	

基本戦略	施策	回答団体	実施した方がよい取組内容	想定される実施主体／補足
		(DMO)	マナー向上×観光リスクマネジメント 山岳観光が一般化する中で、これまで以上にいわゆる「自然を侮った」行動が目立つようになることが想定される。初めての登山であっても、最低限必要な知識・持ち物・有事の行動等、情報発信を強化することは、最終的には環境保全や地域住民への配慮にもつながると考える	自治体、観光団体、体験提供事業者、ガイド団体、宿泊事業者、
	■ 施策2-3 科学的な観光地経営の元となる統計整備とモニタリング手法開発			
	(該当事業なし)			
	【基本戦略3】白馬村における観光産業の構造改革			
	■ 施策3-1 多様な季節・エリアの魅力づくりによる閑散期対策の強化			
	(民間)宿泊事業者	天狗の道トレイル再整備		
	(民間)宿泊事業者	【夏季集客対策】 ・通年、誘客できるイベントの開催	白馬村　白馬村観光局	
	(民間)アクティビティ関連事業者	交通インフラ整備。登山口までのバス拡充		
	(民間)アクティビティ関連事業者	交通インフラ整備。登山口付近の駐車場拡充。駐車場の混雑状況カメラ設置、または予約制		
	■ 施策3-2 観光産業事業者・従事者の労働環境・居住環境・教育環境の整備			
	(民間)宿泊事業者	白馬村を拠点に若い世代が安全に山と向き合い、学び、楽しむ力を育てるための地域プログラム		
	(民間)宿泊事業者	従業員の住める場所		
	(民間)宿泊事業者	小規模宿・民宿文化継承支援 →白馬村の宿泊文化は、民宿・ペンション・小規模旅館によって支えられてきたが現実には後継者不足、施設老朽化、人材不足、デジタル対応、外国人対応等により、継続が難しくなっている。 そこで宿泊税を活用し、小規模宿の継続支援を行う。 例1：デジタル支援として予約、決済、翻訳、宿泊税対応 例2：共同清掃・人材支援として繁忙期の人材共有、清掃支援の仕組み作り 例3：事業承継相談及び協力として賃貸、運営委託の相談及び共同経営	白馬ホテル協議会	
	(民間)宿泊事業者	宿泊産業人材確保・育成事業 →研修制度として接遇、語学、清掃、調理、施設管理の学び →短期人材バンクとして冬季・夏季の短期人材登録制度	白馬ホテル協議会	
	(民間)その他事業者	多様なバックグラウンドを持つ人々が暮らしやすい環境（行政手続きの多言語化、生活情報の提供など）を整備することで、長期滞在者や国際的なビジネスの拠点としての魅力を高めます。		
	■ 施策3-3 ハード・ソフトの付加価値の向上(既存施設への再投資)			
	(民間)宿泊事業者	駅前の交通渋滞緩和	駅の反対側にも改札口を作り、タクシーやバス乗り場をつくる。	
	(民間)宿泊事業者	北部グラウンドに、誰でも予約して利用できる人工芝のサッカー／ラグビー場を設置します	役場	
	(民間)宿泊事業者	松川北岸の公園にトイレを設置し、その土地をキャンプ場運営者に貸し出します。	役場	
	(民間)宿泊事業者	道路の整備(古い場所たくさんある)、街灯の取り付け、旅行者為のサイン	村	

基本戦略	施策	回答団体	実施した方がよい取組内容	想定される実施主体／補足
		(施設名不明)	道の駅の拡張	
		(民間)宿泊事業者	白馬駅前の整備（駐車場、観光案内所）	
		(民間)宿泊事業者	観光地の整備	
		(DMO)白馬村観光局	村内観光スポットの整備	白馬大橋周辺の駐車場、横断歩道、動線案内、トイレ、収入にできる場所、観光スポットとしての仕掛け。大出公園の混雑対策（AIカメラと駐車場看板の連動など）、観光スポットとしての仕掛け。親海湿原・姫川源流の整備。野平、青鬼の駐車場有料化など。
		(民間)その他事業者	大雪渓ルートを監視するカメラの設定	白馬山案内人組合、観光局
		(民間)オーブス株式会社	白馬駅含め、駅前ロータリーに駅西側の田園地帯よりの北アルプスの景観に考慮した、木造の大屋根を構築する。	
	■ 施策3-4 収益性を高めるための仕組みづくりと、利便性・生産性向上を実現するためのDXの推進			
	(DMO)一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM	観光インフラの整備課×DX（特にグリーンシーズン） 季節感の来訪者数の平準化が課題となっている中で、グリーンシーズンの客足を伸ばすのには、来訪者が地域内の移動に不便を感じないようにすることが必要。 現状Uberや乗り合いタクシー、一部地域内路線バスもあるが、情報がまとまっておらず、来訪者にとってわかりにくい状況。交通手段そのものに加え、DXを導入した情報発信を強化することが必要だと考える。	自治体、交通事業者	
	(協議会)白馬ハイランドホテル（白馬ホテル協議会の一員として）	小規模宿・民宿文化継承支援 →白馬村の宿泊文化は、民宿・ペンション・小規模旅館によって支えられてきたが現実には後継者不足、施設老朽化、人材不足、デジタル対応、外国人対応等により、継続が難しくなっている。 そこで宿泊税を活用し、小規模宿の継続支援を行う。 例1：デジタル支援として予約、決済、翻訳、宿泊税対応 例2：共同清掃・人材支援として繁忙期の人材共有、清掃支援の仕組み作り 例3：事業承継相談及び協力として賃貸、運営委託の相談及び共同経営	白馬ホテル協議会	
	(民間)オーブス株式会社	・高地野菜・有機農業の推進とブランド認証: 昼夜の寒暖差を活かした高品質な野菜や果物を「白馬ブランド」として認証し、高級レストランや百貨店への販路を開拓します（アグリビジネス）。 ・地産地消型レストラン・加工所の運営支援: 村内で採れた食材のみを使用したレストランや、ジュース、ジャム、ワインなどを製造する食品加工所の開設を支援。 ・農業技術の研究拠点化: スマート農業や有機農業技術の研究実証フィールドを提供し、先進的なアグリビジネスのノウハウを蓄積・発信します。 （ファーム・トゥ・ボトル）、クラフトビール・地ビール、シードル、クラフトジン・リキュール、どぶろく・日本酒（特区活用）、ワイン製造など、白馬の自然資源を活かした地産地消型のアルコール類製造の可能性を提案。		

【基本戦略4】世界に通用する白馬の魅力＝HAKUBAローカルの磨き上げ			
	■ 施策4-1 HAKUBAローカルの発信とそれらをじっくり楽しむコンテンツの開発		
	(民間)宿泊事業者	天狗の道トレイル再整備	
	(DMO)白馬村観光局	村内景観づくり（色彩）	コンビニやガソリンスタンド、スーパーマーケットなどの看板を落ち着いた色彩に変更してもらう。ガードレールや電柱なども随時景観に配慮した色へと変更。

本戦	施策	回答団体	実施した方がよい取組内容	想定される実施主体／補足
		(協議会)	塩の道・道祖神・多雪文化を活かした連泊促進型サイン整備事業 ～白馬の“歩いて知る文化”を、1泊通過型観光から2泊・3泊滞在型観光へ転換するために～ 1. 塩の道の価値が宿泊者に十分伝わっておらず、イベント的な行事になっている 「塩を運んだ道」という説明だけでは、道祖神、石仏、雪国の暮らし、牛方宿、地域信仰、食文化、温泉との関係まで伝わりにくい。 2. 道祖神や石仏の意味が分からない 写真を撮って終わるだけになりやすく、「なぜこの場所にあるのか」「旅人や集落をどう守ってきたのか」が伝わっていない。 3. 多雪地帯ならではの案内が不足している 冬期・融雪期は、積雪、凍結、雪崩・落雪、ぬかるみ、視界不良などがあり、通常の観光看板では不十分。 4. 1泊型観光から連泊型観光への導線が弱い 白馬はスキー・登山目的では連泊がある一方、文化散策・歴史回遊を理由にした連泊提案がまだ弱い。 5. 村内・小谷・大町・糸魚川方面との広域連携が弱い 塩の道は本来、広域の文化軸であり、白馬単独ではなく小谷・大町・糸魚川との連携により価値が高まる。	観光局
		(協議会)白馬ハイランドホテル（白馬ホテル協議会の一員として）	小規模宿・民宿文化継承支援 →白馬村の宿泊文化は、民宿・ペンション・小規模旅館によって支えられてきたが現実には後継者不足、施設老朽化、人材不足、デジタル対応、外国人対応等により、継続が難しくなっている。 そこで宿泊税を活用し、小規模宿の継続支援を行う。 例1：デジタル支援として予約、決済、翻訳、宿泊税対応 例2：共同清掃・人材支援として繁忙期の人材共有、清掃支援の仕組み作り 例3：事業承継相談及び協力として賃貸、運営委託の相談及び共同経営	白馬ホテル協議会
		(民間)オーブス株式会社	既存の温泉資源、例えば、八方温泉など村内には複数の温泉地があり、これらをウェルネスプログラム（温泉療法、スパなど）に組み込むことができ、地域の活性化の要素もあります。	
	■ 施策4-2 白馬村の自然環境を後世に引き継ぐための環境対策			
		(民間)宿泊事業者	スキーイン・アウト地域化実証事業（スノースポーツ利用者優先道路の検討）	
		(民間)宿泊事業者	松川、平川にごみ放置罰金の看板	河川敷にごみ放置罰金、監視カメラあり、などの看板を設置（グリーンシーズンの河川敷での外遊びをした後のマナーの悪さが年々目立ちます。看板があるだけでも少し変わると思いますので、設置していただきたいです。景観を損なってしまうようであれば、地元アーティストにお願いして絵をかいてもらうでもいいと思います）
		(民間)宿泊事業者	公共のごみ回収および清掃サービスの費用を負担します。	役場又は区
		(施設名不明)	村内のクリーン作戦。	
		(施設名不明)	環境保全	
		(民間)宿泊事業者	景観向上	村
		(民間)宿泊事業者	ゴミ、自然環境保護	村、行政区
		(民間)その他事業者	長期計画に基ずく幹線道路脇への植樹（桜等花の綺麗な樹木）	
		(民間)その他事業者	人口密度（宿泊施設）の多いみそら野、名鉄別荘地への下水工事、リゾート地には環境保全のため下水設備が必要、少しずつでも進めて欲しい。	
		(DMO)	自然環境への保全活動	親海湿原姫川源流の保全活動をはじめ、河川や森林整備（特に観光客が回遊する場所）

本戦略	施策	回答団体	実施した方がよい取組内容	想定される実施主体／補足
		(民間)その他事業者	・小水力発電の導入拡大: 河川や農業用水路を活用した小規模分散型の発電施設を整備し、地域内での電力供給を強化。 ・木質バイオマスエネルギーの利用推進: 未利用間伐材を燃料とするボイラーや発電施設を導入。公共施設や温浴施設での利用を進め、林業の活性化にも繋げる。また、各住戸にも小型ペレット型ボイラーを共有し、地域の間伐材を利用した熱源（ペレット）を供給し、村の財源を確保する。 ・オフグリッドの構築: 地域内の小水力発電等で発電した電力を効率的に利用するためのシステムを構築。住戸ごとではなく地域ごとで成立するシステムとし、エネルギーコスト削減と災害時の強靱化を図る。 「白馬村ゼロカーボンビジョン」など、既に策定されている計画に基づき、体系的に事業を進めます。 ・既存住宅の外壁木質化による景観の整備、同時にエネルギー効率化の推進。既存住宅に対し、外断熱層付きの木質化（地域産材を使用した板張り）を推奨・支援。エネルギー効率の劇的な向上により暖房費を削減しゼロカーボン目標に貢献するとともに、「白馬らしい」統一感のある美しい街並みを形成。（森林環境贈与税や木質化の推進を目的とした補助金などを利用）	
	■ 施策4-3 多様な来訪者の受け入れ環境整備			
		(民間)宿泊事業者	【観光案内所のアップデート】 ・観光案内所の多言語対応（サイン標識等のハード面のみならず人材面も） ・案内所の場所を増設（村内各エリアにひとつずつ設置しよりプロアクティブな情報発信ができるようにする）	白馬村　白馬村観光局
	■ 施策4-4 ターゲットとの関係構築を意識した戦略的なプロモーション			
	(該当事業なし)			
	■ 施策4-5 観光財源の効果的な活用とガバナンス構築			
		(民間)宿泊事業者	宿泊税がスタートし、新たな財源が確保できることが担保されている以上、その用途をしっかりと定め計画的に運行していくことが大切ななか、 外部講師、外部団体（事務局機能）をしっかりと強固なものにして 村民を巻き込み動いていくような取組。 契約内容は素晴らしいものなので、いかにしてそれらを具現化するかは 実はファシリテートしてくれる方たち、その機能にかかっていると痛感しています。	
		(民間)その他事業者	宿泊業者に偏ることなく、白馬村について確りと考えている村民や法人のためにも活用していただきたい。アイデアはあっても資金面は不足するといったところに活用することで「地域全体での白馬ブランドの構築」につながると捉えている。	
	■ 施策4-6 ビジョンを実現するための観光推進体制の強化と観光推進組織の改革			
		(民間)宿泊事業者	宿泊税がスタートし、新たな財源が確保できることが担保されている以上、その用途をしっかりと定め計画的に運行していくことが大切ななか、 外部講師、外部団体（事務局機能）をしっかりと強固なものにして 村民を巻き込み動いていくような取組。 契約内容は素晴らしいものなので、いかにしてそれらを具現化するかは 実はファシリテートしてくれる方たち、その機能にかかっていると痛感しています。	